

小学校第5学年 算数

分類・区分別設問数

分類	区分	対象設問数 (問)	県全体正答率 (%)
学習指導要領の 内容	数と計算	7	67.5
	図形	5	67.1
	測定・変化と関係	2	48.2
	データの活用	1	43.6
評価の観点	知識・技能	12	63.4
	思考・判断・表現	3	62.5
問題形式	選択式	1	77.6
	短答式	13	63.3
	記述式	1	48.0

設問別集計結果

設問番号	出題の趣旨	主に学習する 学年	学習指導要領の内容				評価の観点			問題形式			題 関 連す る や ま ぐ ち 学 習 支 援 プ ロ グ ラ ム 問	あ な た の 回 答 結 果	県 全 体 正 答 率 (%)
			数と式	図形	関数	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	選択式	短答式	記述式				
1 (1) ①	小数どうしの加法の計算をすることができる	4	○			○			○			4年小数		79.2	
1 (2) ②	3位数÷2位数の除法の計算をすることができる	4	○			○			○			4年わり算		78.0	
1 (3) ③	整数-分数の減法の計算をすることができる	4	○			○			○			4年分数		79.0	
1 (4) ④	加法と乗法、除法と()の混じった計算をすることができる	4	○			○			○			4年式と計算の順 じよ		75.9	
2 (1) ⑤	数直線上の数を分数で表すことができる	4	○			○			○			4年分数		55.7	
2 (2) ⑥	四捨五入して概数で表す場面において、どの位までの概数にするのかを判断することができる	4	○			○			○			4年およその数		61.7	
2 (3) ⑦	乗法の場面を、□を使った式に表すことができる	3	○			○			○			3年□を使った式		43.3	
3 ⑧	基準量をもとにして比較量を求めることができる	4		○		○			○			4年割合		61.4	
4 ⑨	180°をこえる角の大きさを計算して求めることができる	4	○			○			○			4年角と垂直・平行		41.6	
5 ⑩	平行四辺形を見だし、その性質を用いて移動経路を考えることができる	4	○				○		○			4年四角形		78.0	
6 ⑪	展開図をもとに、構成される立体の重なる辺について考えることができる	4	○			○		○				4年直方体と立方体		77.6	
7 ⑫	示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方を説明することができる	4	○				○			○		4年面積		48.0	
8 ⑬	ひし形の性質を用いて、辺の長さや角の大きさを求めることができる	4	○			○			○			4年四角形		90.4	
9 ⑭	二次元の表の欄に入る数を求め、表の中の数が表す事柄を読み取ることができる	4			○	○			○			4年調べ方と整理の 仕方		43.6	
10 ⑮	比較量が基準量の何倍かを求める除法の式を立てることができる	4		○		○			○			4年割合		34.9	